



# コロナ渦で見えてきた格差

パンデミックで外国人が直面  
する情報及び支援の格差



NPO法人  
日本ボリビア人協会

2021年6月6日(日)

理事長：山田 ロサリオ

# 自己紹介

- ◆出身      ボリビア
- ◆国籍      ボリビア
- ◆来日      1989年
- ◆理由      日本人との結婚
- ◆家族      娘3人(ボリビア生まれ)
- ◆職業      ボリビア:看護師    日本:NPO法人理事長  
労働基準監督署(相談員)



# 日本来て、30年になります

## 日本語 0

## たどたどスピーチ

### (8) Round Table ⑩

#### "Food for Thought" Seminar

For the 1995 "Food for Thought" Seminar, we will be taking up different nations each session and exchanging thoughts on their people, daily life, culture and society. Plans are to invite people from the nations themselves and Japanese people with connections to those nations and to have them share with us some of their specially treasured stories.

We hope this year's seminar will



The 15th Seminar (October, 1994)  
"The Stories I Grow up with"  
第15回セミナー (1994年10月)  
「私と育つたお話」

### Around NIFS NIFSだより



The 15th Seminar (January 1995)

第15回セミナー (1995年1月)

"My Favorite Home" 「私の好きなホーム」

offer a chance for us to reexamine our own way of life. First, we start with nearby nations of Asia.

April 13(Sat) Indonesia  
May 27(Sat) Thailand  
June 24(Sat) Myanmar

\*Done for April session only has been changed to third Saturday.

Time: 14:00-16:00

Place: NIFS Meeting Room

To apply: Call the NIFS office(0742-27-2436) any time from the first of each respective month.

#### 「目からウロコ」セミナー

95年度は毎回いろんな国を取り上げて、暮らし、文化、社会の問題などについて話し合っています。その国の人やその国とかがわりのある日本人を招いて「とっておきの話」を伺う予定です。

このセミナーが私たちの生活を見つめ直すきっかけになれば幸いです。まず身近なアジアの国々からスタートします。

4月15日(土) インドネシア  
5月27日(土) タイ  
6月24日(土) ミャンマー

※4月のみ第三土曜日に変更

時間: 14:00-16:00

場所: NIFS1-ティンダールーム

申し込み: 毎月1日以降にNIFSまでお電話 (0742-27-2436) でお申し込みください。



# NPO法人日本ボリビア人協会

- ◆ **設立:** 1995年9月(関西ボリビア人会)  
2010年4月(日本ボリビア人協会に変更)  
2012年3月(NPO法人認証)
- ◆ **活動地域:** 三重県津市を中心に、愛知、神戸、大阪、東京など
- ◆ **活動目的:** 在日ボリビア人に対する生活情報の提供および、生活支援

# どれくらいの外国人が住んでいるの??

	津市	三重県
ブラジル	2118	12993
中国	1495	7734
フィリピン	1298	6554
韓国	463	4436
ベトナム	865	4332
ボリビア	364	974
インドネシア	302	1487
ネパール	260	968
タイ	255	1391
ペルー	156	3057
その他	667	3739
	8240	47665

津市の外国人住民の割合  
約3%

三重県の外国人住民の割合  
約2.6%  
前年比+9.7%

令和元年調べ 三重県HPより



# 生活相談窓口

## マナー講習



## リーマンショックの時に、雇用保険について



## 外国人が受けるコロナ情報の格差

★外国人に対してコロナ情報を各母国語で配信されているものの、日本語が出来ないと、その情報にたどり着けない。

★外国人が受けるコロナの情報がすくない。

★外国人が直面する恐怖

人によっては感染したり、感染の症状が出ていても、周りの人に迷惑をかけたくない、日本語が分からないために、感染していることや感染の経緯を伝えなかったり、症状が出てても検査をしないことが多い。

## ★感染した事例

ある県では外国人が20人弱が集団感染した事例がある。その外国人の多くは日本語が出来ず、十分な情報を得られていなかった。多くの支援団体等が外国語での情報を呼びかけているが、地元での情報を得ることは難しい。

## ★三重県での対策

三重県では現在、令和3年度新型コロナウイルス感染拡大防止啓発事業計画が行われている。

日本ボリビア人協会では令和3年度新型コロナウイルス感染拡大防止啓発事業計画の補助金を受けて、よりスペイン語圏の人たちに情報が行き届くように、ラジオ・ラティーナ・イン・三重を始めた。

# 外国人に対する支援

## ★政府が行っている支援について

日本人、在日外国人に関係なく、このコロナ渦において日本政府は、緊急小口資金・総合支援等多くの支援を行っている。それだけでなく、多くの支援団体も活動を通して支援を行っている。

## ★外国人が支援を受ける際の問題

支援に対する情報は多くの主要な外国語で表示されているがその情報にたどりつくまでに日本語しか書かれていなかったりして、なかなかたどり着けない。

また、外国人の中には情報を得て、支援を受けられる条件を満たしているのにも関わらず、申請して断られる事例が起こっている。

## ★外国人への支援の在り方

外国人がより支援を受けられるように、情報に簡単にアクセスできるようにし、どのような方であれ、支援を受けれる条件を満たしているのに、支援が受けれない事がないように対策を打つ必要があると感じます。